
教育委員会が期待する GIGAスクール運営支援センターが担う役割

別海町教育委員会 学務・スポーツ課

令和5年5月23日（火）

第1回 北海道GIGAスクール推進協議会 事例発表

基礎情報

地理

- 北海道東部に位置し、根室管内（1市4町）に属する。
- 留別村、北見市、足寄町、釧路市、遠軽町に次ぐ道内第6位の面積を有する。

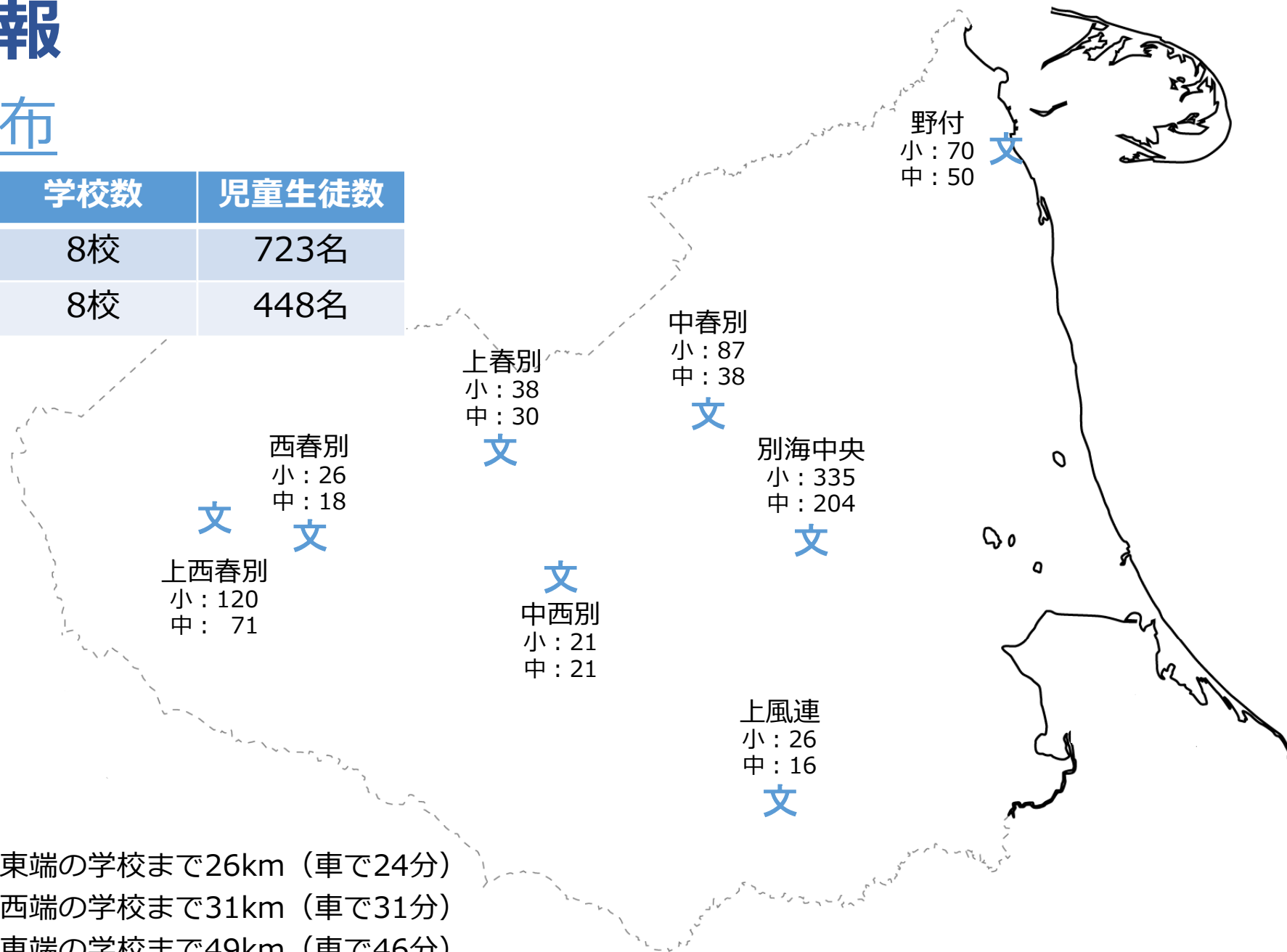
※ 国土交通省国土地理院 令和5年度全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）による



基礎情報

学校分布

	学校数	児童生徒数
小学校	8校	723名
中学校	8校	448名



【参考】

- 役場から東端の学校まで26km (車で24分)
- 役場から西端の学校まで31km (車で31分)
- 西端から東端の学校まで49km (車で46分)

基礎情報

導入機器

メーカー	FUJITSU
名称	ARROWS Tab Q5010/EGG (GIGAスクール無線WANモデル)
型名	FARQ25053Z
OS	Windows 10 Pro (Windows 10 Pro Educationにアップグレード済み)
CPU	Intel Celeronプロセッサ N4000相当
メインメモリ	4GB
パネルサイズ	10.1型ワイド
ディスクドライブ	64GB
カメラ	フロント：約200万画素、リア：800万画素
通信機能	無線LAN：IEEE 802.11 a/b/g/n/ac Bluetooth：V5.0準拠
インターフェース	MicroSDメモリーカードスロット×1 USB Type-C (USB3.1) ×1、Type-A (USB3.0) ×1
堅牢性	落下試験実施 76cm (メーカー基準) 122cm (MIL) MIL-STD-810G試験実施 その他の耐久試験 (振動、加圧等)
防滴・防塵	IPX4、IPX5
バッテリー稼働時間	約11.5時間
バッテリー充電時間	約2.3時間 (急速充電 80%充電まで約1時間)
主なソフト	Microsoft 365 Education GIGA Promo FunctionManager QRコードリーダー 端末診断ツール
付属品	キーボード、専用スタイラスペン、ACアダプター、充電ケーブル

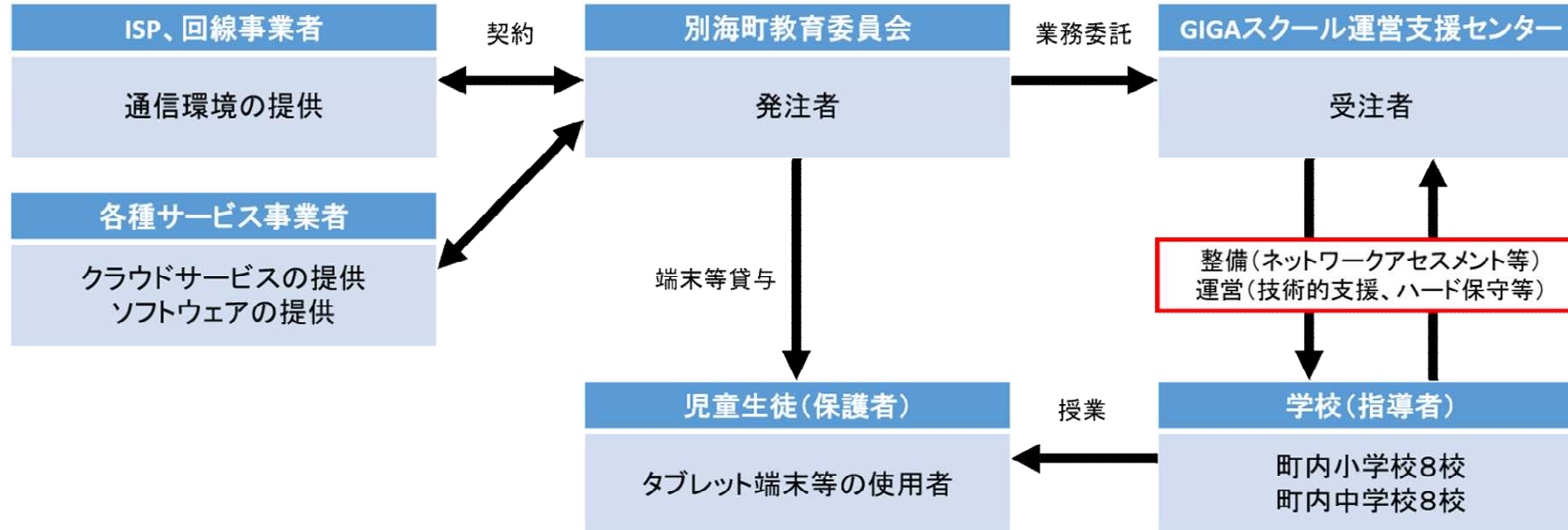


業務内容

契約概要

- 発注者 別海町教育委員会
- 受注者 株式会社オーレンス（野付郡別海町別海旭町48番地1）
- 契約期間 前年度 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
本年度 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

運用体制



業務内容

開設準備

- ネットワークアセスメント
- 応急対応
- ヘルプデスク開設準備

運営

- ヘルプデスクの開設及びサポート対応
- ネットワーク運用・保守
- タブレット端末運用・保守
- ネットワーク及びタブレット端末の障害・故障対応
- マイクロソフトアカウントの作成・更新・削除
- コンテンツフィルタの設定・調整
- ソフトウェアの操作等に関する技術的支援、研修
- 休日・長期休業時等のトラブル対応
- 年度更新処理

研修

健康観察のオンライン入力

- コロナ禍における健康観察をオンラインで集約するもの。
- Power Automateを利用し、集計（表示）を自動化した。
- 各学校の担当者の能力に応じて、1対1で説明をした場合もある。



ポータルサイトの作成

- 児童生徒が「おなやみポスト」に容易にアクセスできる環境を提供したいと考えたのが発端
- SharePointを活用し、タブレットドリル等のリンク集となった。



工夫・目標

令和4年度

- **現地での故障対応、迅速なトラブル対応に注力**
- 故障などの連絡に、書類の提出を求めない
- よくある問合せをまとめ、全教職員が常時閲覧可能な状態にする
(グループウェアのお知らせに掲示)
- 学校からの問合せ先が異なる場合でも訂正しない
(受けた職員から担当者に回す)

令和5年度

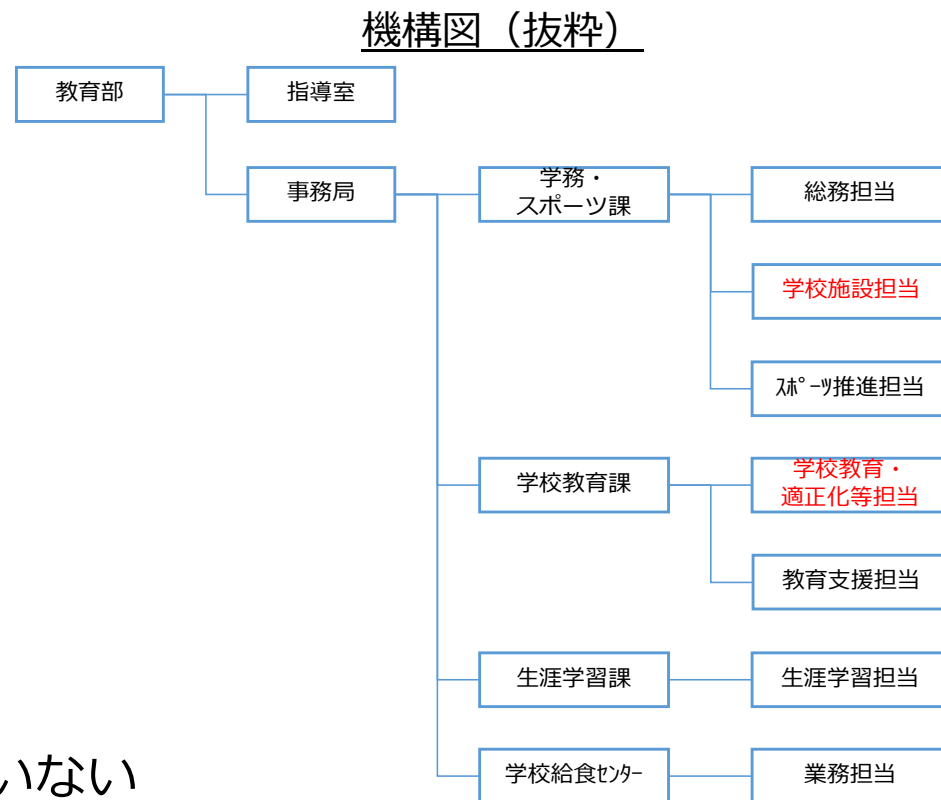
- **プログラミング教育の活性化に向けた支援**
- プログラミング教材の活用支援、操作説明、授業支援（教職員向け）
- 夏期、冬期休業期間中での体験会開催（児童生徒向け）

予算関係

財務部局との調整

- 委員会内にICT専門部門が存在せず、施設部門や教育支援部門が業務の一環又は延長として対応をしていることを説明
- 各部門の担当者だけでは、同時多発的にトラブルが発生すると対処できないことの理解を得る

※ ハード面 学校施設担当職員 1名
ソフト面 学校教育・適正化等担当職員 1名



議会での話題

- 予算要求にあたっては特段質疑を受けていない
- 運用に関する質疑の方が多かった
 - GIGAスクール構想の進捗状況
 - タブレットの更新計画 など

まとめ

運営支援センターに期待する役割

- 専門的な知識を有する職員がいない教育委員会のサポート
- 人事異動の影響がないように切れ目のない支援体制の維持
- 学校の困りごとがスムーズに解決できる環境の整備
- 困りごとが発生しないようなシステム設定等による調整
- 困ったら助けてもらえると思える信頼関係の構築

【参考】

単位：千円

年度	事業名	事業費	事業費		
			単費	補助金	交付金
R2	GIGAスクールサポーター配置支援事業	16,500	0	8,250	8,250
R3	GIGAスクールサポーター配置支援事業	23,100	0	11,550	11,550
R4	GIGAスクール運営支援センター整備事業	18,810	16,458	2,352	0
R5	GIGAスクール運営支援センター整備事業	15,730	11,530	4,200	0